

⑬ 日本国特許庁(JP)

⑭ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭64-41356

① Int. Cl.

識別記号

庁内整理号

⑬ 公開 昭和64年(1989)2月13日

H 04 M 11/00
1/274

3 0 2

8020-5K
7251-5K

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑯ 発明の名称 データ記憶機能付電話機におけるデータ入力方式

⑰ 特 願 昭62-196944

⑱ 出 願 昭62(1987)8月6日

⑲ 発 明 者 奥 山 憲 一 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内
⑳ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号
㉑ 代 理 人 弁理士 本 庄 伸 介

明 細 書

1. 発明の名称

データ記憶機能付電話機におけるデータ
入力方式

2. 特許請求の範囲

データを入力するキーと、キー入力されたデータを表示するディスプレイと、この入力データを記憶するメモリとを備えた電話機に前記キーからデータを入力するデータ入力方式において、

0～9の数字並びに各数字に対応させた複数のアルファベット及びカナが割印してあるテンキーと、

データ入力モードに設定する第1のキーと、

データ入力モードを解除する第2のキーと、

前記テンキーに割印されている数字を入力するモードに設定する第3のキーと、

前記テンキーに割印されているアルファベットまたはカナを入力するモードに設定する第4のキ

ーと、

前記第4のキーを押下したときに、入力モードをアルファベットまたはカナのうちのいずれかに切替える第5のキーと、

前記ディスプレイ上のカーソルを右に移動させる第6のキーと、

前記ディスプレイ上のカーソルを左に移動させる第7のキーとを備え、

前記第1のキーによりデータ入力モードに設定されて、かつ前記第3のキーにより数字入力モードに設定されている場合に、前記テンキーに割印されている数字が入力され、前記第1のキーによりデータ入力モードに設定されて、かつ前記第4のキー及び第5のキーによりアルファベット入力モードに設定されている場合に、前記テンキーに割印されている複数のアルファベットのうちの選択された1つが入力され、前記第1のキーによりデータ入力モードに設定されて、かつ前記第4のキー及び第5のキーによりカナ入力モードに設定されている場合に、前記テンキーに割印されてい

特開昭64-41356(2)

る複数のカナのうちの選択された1つが入力され、

前記アルファベットまたはカナの選択は、前記テンキーを複数回押下してこのテンキーに刻印されている複数のアルファベットまたはカナを順に前記ディスプレイに表示させ、入力したいアルファベットまたはカナが前記ディスプレイに表示されたときに前記第6のキーを押下してカーソルを右へ移動させて次のデータ入力位置を指示することにより行うことを特徴とするデータ記憶機構付電話機におけるデータ入力方式。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は電話機に関し、特に、通常の通信機能とは別にデータ記憶機能が付加されている電話機のデータ入力方式に関する。

(従来の技術)

一般に、電話機は、通常の通信機能のほかに、時刻や着信先電話番号を表示したり、短縮ダイヤル番号に電話番号を対応させて記憶したり、また

は、この短縮ダイヤル 号及び電話番号を表示したりすることができる。

しかし、従来の電話機は、任意の数字及び文字を記憶または表示することはできなかった。

(発明が解決しようとする問題点)

上述した従来の電話機は、任意の数字及び文字を記憶させ、それらを表示する機構を持たないので、簡単な覚書をするには、メモ帳等を用いて記録しておかなければならない。

また、簡単な電話帳機能が電話機に内蔵されていると便利である。

ところが、電話機とは直接関係のない覚書または電話帳機能のための参考データを入力して電話機に内蔵させる場合に、数字、アルファベット、カナといった色々な種類の文字情報を入力するためのキーボードが必要となるので、このキーボードの仕組みは大層りとなり、経済的に成立たないという問題点がある。

(問題点を解決するための手段)

上述の問題点を解決するために本発明が提供す

るデータ記憶機構付電話機におけるデータ入力方式は、データを入力するキーと、キー入力されたデータを表示するディスプレイと、この入力データを記憶するメモリとを備えた電話機に前記キーからデータを入力するデータ入力方式であって、0～9の数字並びに各数字に対応させた複数のアルファベット及びカナが刻印してあるテンキーと、データ入力モードに設定する第1のキーと、データ入力モードを解除する第2のキーと、前記テンキーに刻印されている数字を入力するモードに設定する第3のキーと、前記テンキーに刻印されているアルファベットまたはカナを入力するモードに設定する第4のキーと、前記第4のキーを押下したときに、入力モードをアルファベットまたはカナのうちのいずれかに切替える第5のキーと、前記ディスプレイ上のカーソルを右に移動させる第6のキーと、前記ディスプレイ上のカーソルを左に移動させる第7のキーとを備えていることを特徴とする。

前記第1のキーによりデータ入力モードに設定

されて、かつ前記第3のキーにより数字入力モードに設定されている場合は、前記テンキーに刻印されている数字が入力される。

前記第1のキーによりデータ入力モードに設定されて、かつ前記第4のキー及び第5のキーによりアルファベット入力モードに設定されている場合は、前記テンキーに刻印されている複数のアルファベットのうちの選択された1つが入力される。

前記第1のキーによりデータ入力モードに設定されて、かつ前記第4のキー及び第5のキーによりカナ入力モードに設定されている場合は、前記テンキーに刻印されている複数のカナのうちの選択された1つが入力される。

なお、前記アルファベットまたはカナの選択は、前記テンキーを複数回押下してこのテンキーに刻印されている複数のアルファベットまたはカナを順に前記ディスプレイに表示させ、入力したいアルファベットまたはカナが前記ディスプレイに表示されたときに前記第6のキーを押下してカーソルを右へ移動させて次のデータ入力位置を指示す

特開昭64-41356(3)

ることにより行う。

(実施例)

以下、本発明の一実施例について図面を参照して説明する。

第1図は本発明の一実施例のデータ記憶機能付電話機におけるデータ入力方式のブロック図である。

本実施例のデータ記憶機能付電話機におけるデータ入力方式は、ディスプレイ1、CPU(プロセッサ)2、メモリ3及びキー4から構成されている。

まず、簡単な覚書または電話履歴等のための参考データを入力する場合の入力モードについて説明する。

第2図は第1図のキー4の配列例を示す図であり、キー4は、[0]～[9]のテンキーと特殊キーとからなる。本実施例で用いる特殊キーとしては、[MEMO]、[数字]、[アルファベット/カナ]、[解除]、[シフト]、[一]及び[一]がある。

選択には、[シフト]キーを用いる。この[シフト]キーを押下することによりアルファベット入力モードまたはカナ入力モードと自由に選択できる。

また、「解除」キーを押下することにより、プロセッサ2は通常の動作モードとなる。

次に、具体的な例文を用いて数字及びアルファベットの入力について説明する。

例えば、「OKU 0471 82 1111」と入力する場合の本実施例の動作の流れを以下に示す。

- (1) [MEMO]キーを押下して参考データ入力モードを設定する。
- (2) ディスプレイ1上の入力箇所カーソルが点滅し、データ入力位置を示す。
- (3) [アルファベット/カナ]キーを押下してアルファベット入力モードにする。この例では[アルファベット/カナ]キーを押下するとアルファベット入力モードになる場合を示している。
- (4) テンキーの[5]を押下すると、カーソル

前述の第1のキーに[MEMO]キー、第2のキーに[解除]キー、第3のキーに[数字]キー、第4のキーに[アルファベット/カナ]キー、第5のキーに[シフト]キー、第6のキーに[一]キー、第7のキーに[一]キーがそれぞれ対応する。

[MEMO]キーが押下されると、CPU2はメモリ3内のプログラムを起動して参考データ入力モードを設定する。これにより、特殊キーの使用が可能となり、テンキー及び特殊キーを用いて入力された数字、アルファベット等のデータがメモリ3内に記憶されることとなる。

テンキーには、第2図に示すように、それぞれいくつかのアルファベット及びカナが割印されており、各テンキーに対応するアルファベットまたはカナを入力する場合に、[アルファベット/カナ]キーを押下して希望する入力モードとする。

[アルファベット/カナ]キーは、データの入力モードをアルファベットまたはカナのうちのいずれかに設定する。アルファベットまたはカナの

の表示位置に「M」と表示され、以下[5]キーを押下することにより「N」、「O」の順で表示文字が変化する。このように、テンキーは、押下することにより、各キーに対応して割印されている文字を順に表示する。カーソルの表示位置に「O」と表示されたところで、[一]キーを押下することにより、該カーソルの表示位置に「O」が入力され、カーソルは1つ右に移動し、次の入力位置を指示する。

- (5) (4)と同様の動作により、[4]キーで「K」を、[7]キーで「U」を選択してそれぞれ入力する。
- (6) 文字を入力せずに[一]キーを押下することにより、空白が入力される。
- (7) [数字]キーを押下して数字入力モードにする。
- (8) テンキーと[一]キーを押下することにより、テンキーの数字がそのまま入力される。これにより、「0」、「4」、「7」、

特開昭64-41356(4)

"1", "8", "2", "1", "1",
"1", "1"を順に入力する。

(10) [解除]キーを押下して参考データ入力モードを解除し、通常の動作モードとなる。

以上のようにして、例文のデータを入力することができる。

また、入力したデータに誤りがあった場合は、
[一]及び[一]キーを用いてカーソルを左右に移動させて文字等を上書きすることにより修正を行うこともできる。

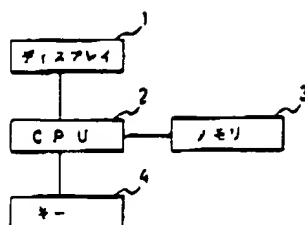
(発明の効果)

以上に説明したように本発明は、数字を入力してダイヤル操作を行うためのテンキーを、数字入力と共に文字入力にも使用することにより、簡単な覚書または電話機機能のための参考データを経済的に電話機に入力して内蔵できるという効果がある。

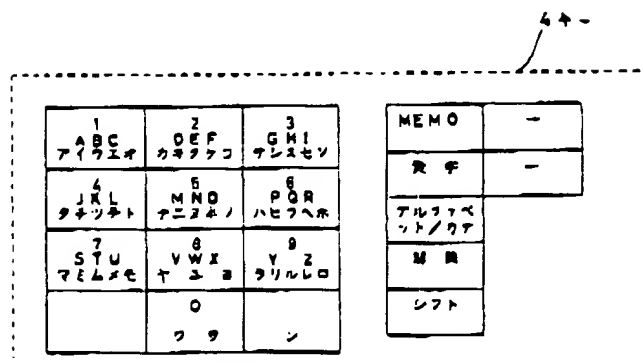
代理人 非理士 本庄伸介

1. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例のデータ記憶機構付



第1図



第2図